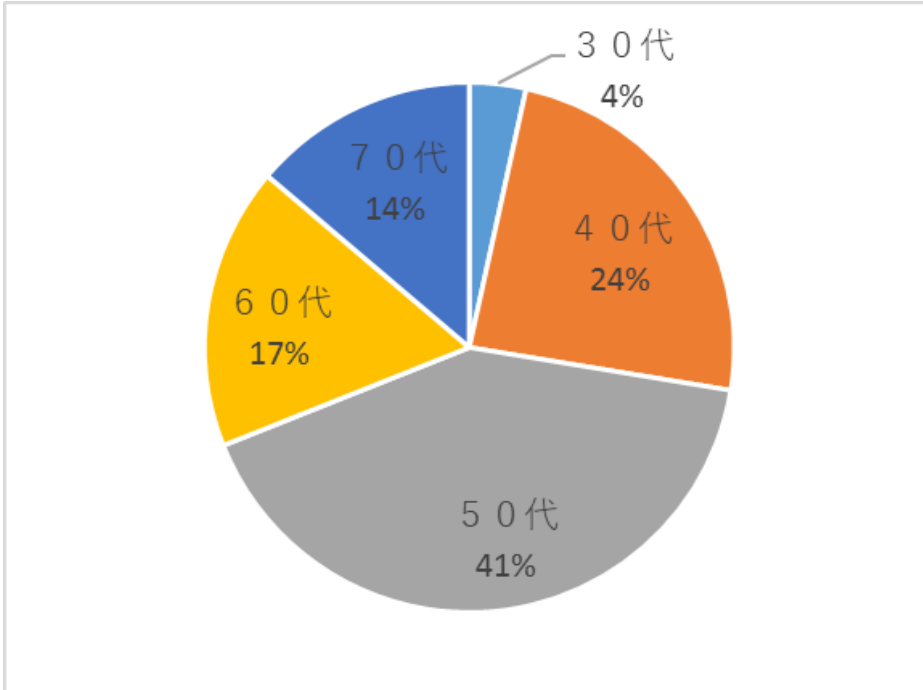


ひきこもり支援講演会（3月8日）

アンケート結果

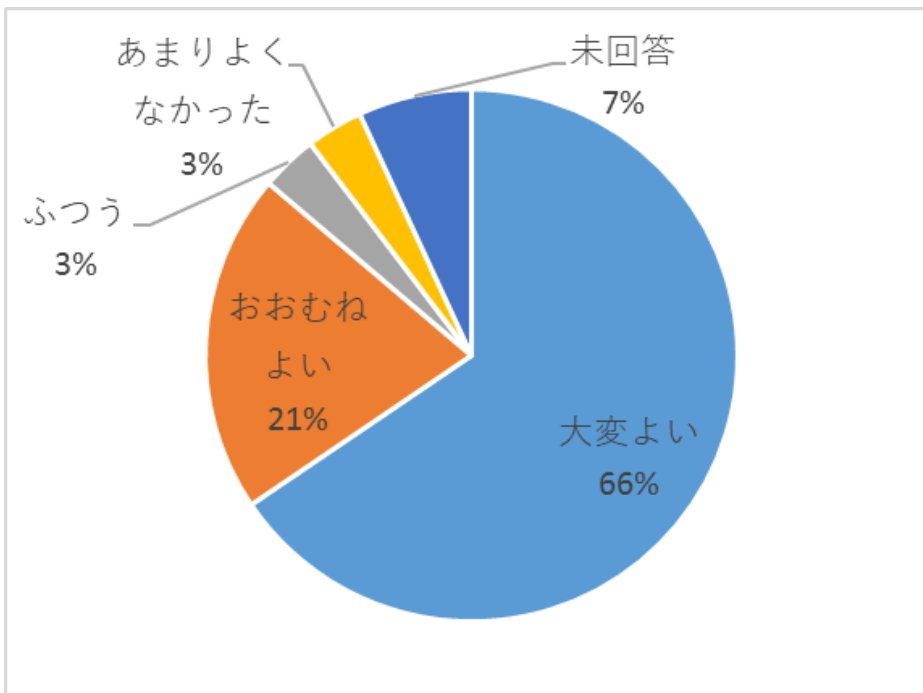
※参加者34名中、回答者29名

1 参加者年代



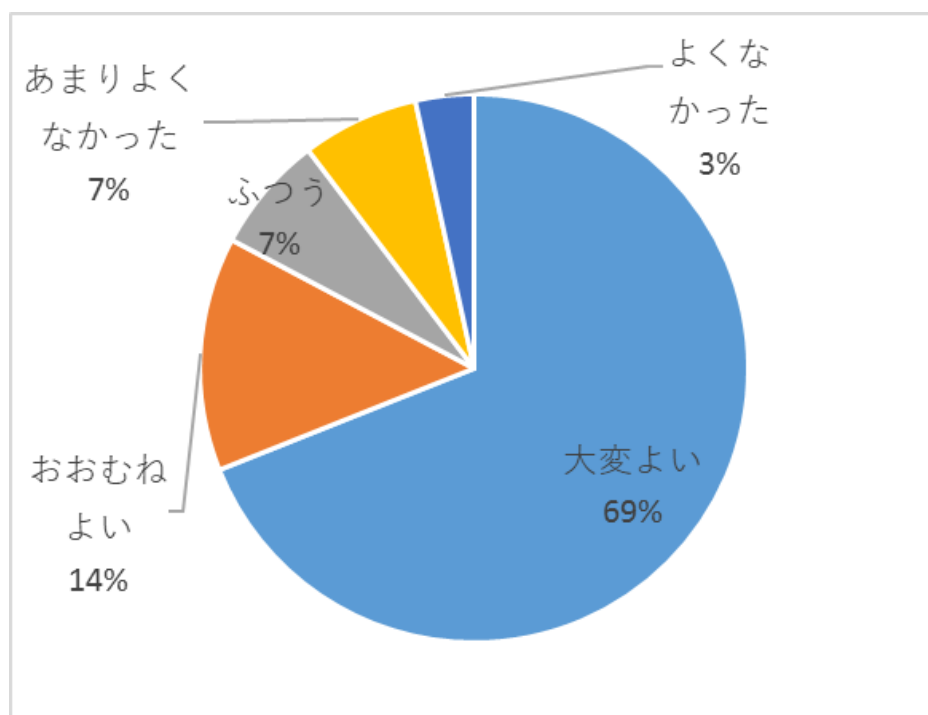
2 感想

(1) 全体



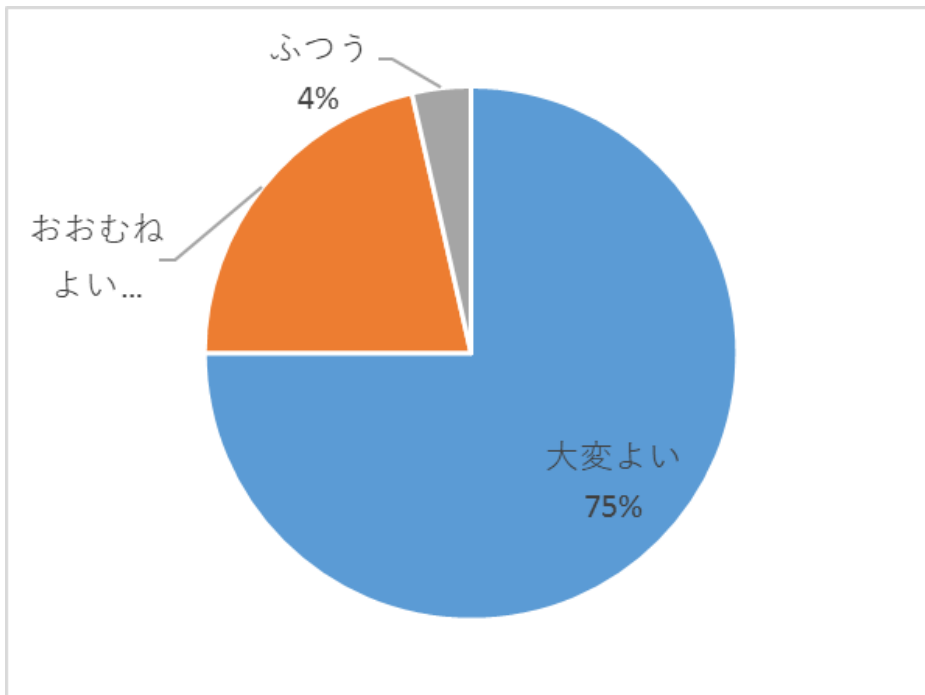
- ・ 当事者、先生のお立場からの講演は、とても分かりやすく、有難かったです。
- ・ 温かい雰囲気、話しやすかったです。貴重な機会をありがとうございました。
- ・ 学校・教育の方面から、ひきこもりのテーマを見ることは、また違う気付きがありました。
- ・ 今の自分の現状を共感していただけた事、子どもとの状況が、今のままで大丈夫だという事を言っただけで、安心できました。
- ・ 知見を深めることができました。反面、講演が長く、話し合いが不足でした。
- ・ 同じ立場同士、共感し合えた。

(2) 中澤先生の講演



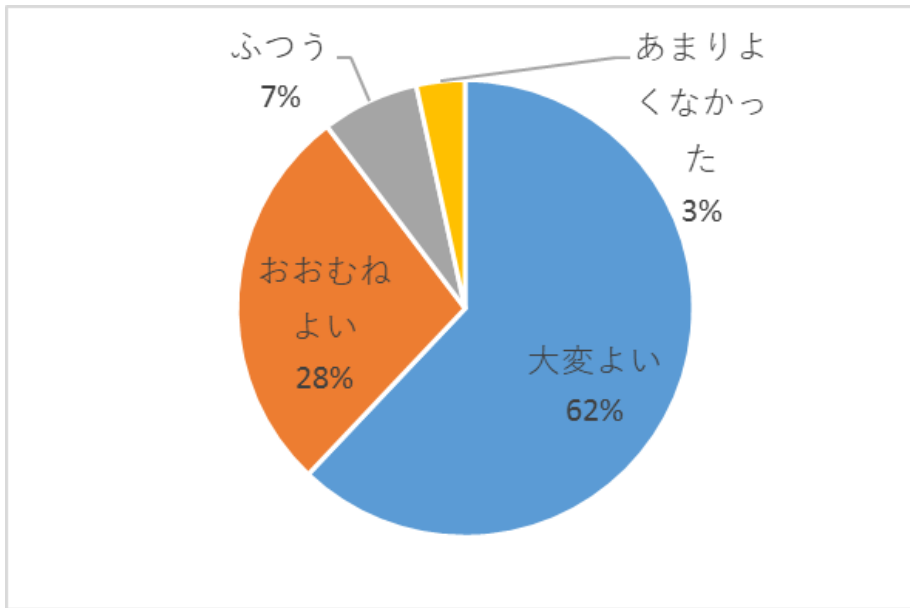
- ・ 先生のリアルな体験が聞けて、良かったです。
- ・ 親が元気であるのが一番との話に、共感しました。
- ・ 不登校の段階があるという事が、本当らしいという事を知れた。
- ・ 好きなことを見つけると元気になる、パワーが出ると知れて良かったです。
- ・ お母さんが元気になること、自分の時間を持つこと、背中を押してもらえました。ありがとうございました。
- ・ 親としてのお話、教員としてのお話の両方が聞けて、良かったです。
- ・ 悩みから、不登校になるまでのステップを知ることができた。体験談が良かった。
- ・ 女性の先生が頑張っているお話で、私も女性で共感できたところもあったと思います。
- ・ 中澤さんの行動力がすごくて、同じ母親として勇気をもらった。
- ・ アカデミック(学術的)な話に終始していた。

(3) 荒木先生の講演



- ・ 親子でサポートしていただけるのが、心強いと思いました。
- ・ 就学前から大学・就職まで、しっかりとサポート体制を作られていて、すごいと感じました。
- ・ 先生として見落としてしまっても仕方がない、不登校・ひきこりの生徒を何とかしようと思い、事業を立ち上げていること、「生きていて良かった」を大切に運営されているところが、大変良かったです。
- ・ このような学校の取組みは、とても良いと思います。松本でも広まっていくことを願います。
- ・ 一緒に悩んでくれる場所がある！本人の考えを尊重することが大事(自分らしくする)」を知ることができた。
- ・ 熱が感じられた。学生時代に、こんな先生に出会えていれば良かった。
- ・ ユニークな学校で「こんな学校もあるのか！」と、新しい発想に学びになったと思います。
- ・ フリースクールについて検討していたのですが、実際どんな所なのか、何をしているのかを知るきっかけができて、良かったです。
- ・ 実際、支援にかかる料金も、具体的に示していただき良かったです。
- ・ オールサポート体制が、とても魅力的だと思った。

(4) グループワーク



- ・ 様々な立場の人と話ができ、良かったです。勉強になりました。
- ・ 皆さんの体験が聞けて、良かったです。
- ・ 中学校以降のことをイメージできずにいましたが、色々な選択肢があることを知れて、良かった。
- ・ 親の会のような場所に初参加でしたが、同じ当事者の方たちの話を聞いたり、情報をシェアしてもらえて、良かったです。
- ・ 立場が違って、思いは同じだと分かった。
- ・ ひきこもりは、言いにくい事ですので、お話ができる機会は有難いです。
- ・ 泣きながら、経験や悩みを共有できた。
- ・ すぐに解決できなくても、話をすることや吐き出すことの重要性を、痛感した。
- ・ 親のフォロー、知識の場の大切さを、改めて感じた。
- ・ 大変有意義な話し合いが、できました。もう少し時間があれば、なお良かったです。

4 ひきこもり研修会の内容に関する要望等

- ・ 今後(来年度以降)も、研修会へ参加させて頂きたいと思います。活動・研修会を続けて頂きたいです。
- ・ 何とか乗り越えてきた一家族の経験を何かに活かせないかと考えており、参加させて頂きました。ご講演ありがとうございました。
- ・ 子ども中心の視点で、先生とも連携して見守っていきたいと思います。
- ・ お子さん連れの方も参加しやすいように、託児ルーム等、別室で過ごせる工夫が出来ると、よいですね。
- ・ 現在進行形でもある、不登校児の増加という、将来の大きな社会課題に対し、行政が少しでも継続的に関わっている事が、有難いと思います。
- ・ 今回は、はぐルッポ親の会のLINEグループで情報を得ましたが、マツトモ(はぐまつ?)等、多方面で発信して、多くの人目に触れるようにしたら、もっと多くの方に届いたと思います。
- ・ 支援者でまとまるならば、グループワークの時間がより欲しい。
- ・ また回を重ねて、より具体的な支援の話がしたい。
- ・ 色々な講師のお話を聞かせていただける貴重な機会は、多ければ多いほど、有難いです。